公開シンポジウム

多様な背景をもつ生徒の社会的移行の壁をなくすために

―世界の支援体制から学ぶヒント―

2025
3.15（土）
13:00-16:30
12:30受付開始

本シンポジウムの趣旨と概要

学校現場には、外国にルーツをもつ生徒、性的少数者、出自や居住地などを理由に差別やいじめを受けやすい生徒など、多様な背景により社会的移行に困難を抱える生徒がいます。こうした生徒たちが自己肯定感を損なうことなく学校生活を送り、円滑に社会へと移行するためには、どのような支援が求められるのでしょうか。

本研究では、日本・韓国・アメリカ・カナダ・イギリス・ドイツ・フランス・デンマークの８か国を対象に、学校や移行支援機関等において、「誰によって(Who)、どのような場面で(When)、どこで(Where)、どのような方法で(How)、どのような内容で(What)」支援が提供されているのかを調査し、各国の特徴や課題を比較しました。

このシンポジウムでは、第１部として、上記８か国における移行支援の特質と課題をお伝えします。第２部では、第１部の報告に対するご質問等をいただきながら、ご参加の皆様とともに多様な背景をもつ生徒に対する移行支援の在り方を考えていきます。

本研究の成果が、教育現場での支援のヒントとなり、すべての生徒が安心して学び、社会へとつながるための手がかりとなることを願っています。

多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

研究代表者：藤田晃之（筑波大学）

参加方法

対面・オンライン（ハイブリッド形式）

※対面でご参加の方には、
最終報告書と当日の発表資料をお配りします。

会場（対面参加）

筑波大学東京キャンパス文京校舎
120講義室（東京都文京区大塚3-29-1）

東京メトロ 丸ノ内線
茗荷谷駅「出口１」より徒歩３分程度

プログラム

13:00-13:10	趣旨説明
13:10-14:10	各国担当班による報告(前半)（４カ国×15分）
14:10-14:20	休憩
14:20-15:20	各国担当班による報告(後半)（４カ国×15分）
15:20-15:30	休憩
15:30-16:30	質疑応答・全体討論

参加費無料

お申し込み

対面・オンライン、どちらのご参加でも事前のお申込みが必要です。下記URLまたは右記QRコードからお申込みください。
https://forms.gle/RGPPaTyaHVfrwVYb7

お申し込みは３月10日までにお願いします

科研費 KAKENHI
本シンポジウムは、2020〜2024年度JSPS科研費20H00093を受けて行った調査研究(基盤研究(A)「バルネラブルな生徒・中途退学者等に対する学校から社会への移行支援に関する国際比較」)の成果に基づくものです。